

3/15-3-76

日米共同訓練「アイアン・フィスト」終了

2月8日、南から暴風雨が吹き、船は揺れ、乗組員の心も揺れた。しかし、訓練は中断されず、午後3時頃、暴風雨が止むと、再び訓練が開始された。訓練内容は、艦載機による空襲演習、水上戦闘演習、陸上攻撃演習など多岐にわたった。特に、陸上攻撃演習では、陸軍の歩兵連隊が島を攻撃する様子が実戦通りに再現され、その迫力と実戦的さが、乗組員たちに大きな印象を与えた。また、艦載機による空襲演習では、爆撃機が目標を攻撃する姿が見られ、その威力と精度が確認された。一方で、艦載機による爆撃では、誤爆や命中率の低さなどの課題も指摘された。これらの課題は、その後の訓練で改善される。この間、乗組員たちは、常に「敵」に対する警戒態勢を保つこと、そして、自らの任務を確実にこなすことの大切さを学んでいた。

## 「水陸両用部隊統合」狙う

空挺（くうとう）部隊が敵地に侵入し、敵を掃討することを想定。米軍MV-22オスプレイとCH-53大型ヘリから兵士が降り立ち、戦闘訓練を行いました。

12日終わりました。日本共同訓練の強化が明記された安保3文書と並び、初めて日本で実施。自衛隊約700人、米軍約800人が参加し、南西諸島での対中国戦闘を想定した東戦的訓練となりました。九州、沖縄なら全国各地でさあれまた訓練を実施しました。

強襲作戦一体で

「コア（中枢）能力である水陸両用作戦を、統合して用部隊の統合」という想

団のアーリアクリクソン団長は、「アイアン・ファイブ」トの特徴を「この説明」もつた。当初、国訓練では米海兵隊が陸団の水陸両用作戦能力を高めるために「教育」すむ「方針」でござるが、『自衛隊版海兵隊』と宣われる陸団水陸両用部隊と米海兵隊を「統合」して行う狙いを示してお

住民“懐柔”の動きも

水陸機動団の水陸両用車から海  
岸に展開した陸面艦隊。上陸には  
は田代のオペレレイが用ひられて  
いた。鹿児島・鹿児島

した後、米海兵隊の機関車牽引車、アーモンド・トランク車、陸用車、(AAV)が上陸。MV-22ヘリコプターとヘリコプター機動歩兵がそれに続いた。海軍上陸部隊は飛行してしまった。

敵・通商・観光の船艦が往  
來するにもかかわらず、住  
民に事前に知らせず強行。  
日本艦艇双方からエアクッ  
ション型揚陸艇（LCA  
C）を発進させて入れ替  
え、格納する訓練を実施し  
ました。日本共産党の大平  
富信元衆院議員は、「広島  
湾には、原爆投下時に大勢  
の人が川に飛び込み、流れ  
着いた遭難者が眠っている。  
そこで戦争準備を進める訓  
練をするのは被爆者を慰め  
うする行為だ」と憤りま  
及。対中國で、沖縄を主戦  
場、九州などを補給拠点と  
する構想だとみられます。  
また、周辺住民を「被爆者  
する動きもありました。日  
米合同委員会合意に基づ  
き、公共の砂浜を訓練のた  
めに一時使用。昨年11月の  
日米共同演習チーン・ソー  
ドに續いて、一般公開もさ  
れ、砂浜に自衛隊に勧誘す  
るアースを設置し、広報活  
動も実施しました。

告知もせず強行

十一

告知もせぬ強行  
重大なのは、アイアン・  
フィストに合わせて、予定  
になかった広島湾での共同  
訓練を初めて実施したこと  
です。広島湾には漁船や運  
補給や兵站（へいたん）艦  
勢強化の一環とみられま  
す。ハンドウクンヘ庄は会  
見で、「敵之艦は沖縄に近  
くへ國や軍艦の動かし方、

敵・通商・観光の船艦が往  
來するにもかかわらず、住  
民に事前に知らせず強行。  
日本艦艇双方からエアクッ  
ション型揚陸艇（LCA  
C）を発進させて入れ替  
え、格納する訓練を実施し  
ました。日本共産党の大平  
富信元衆院議員は、「広島  
湾には、原爆投下時に大勢  
の人が川に飛び込み、流れ  
着いた遭難者が眠っている。  
そこで戦争準備を進める訓  
練をするのは被爆者を慰め  
うする行為だ」と憤りま  
及。対中國で、沖縄を主戦  
場、九州などを補給拠点と  
する構想だとみられます。  
また、周辺住民を「被爆者  
する動きもありました。日  
米合同委員会合意に基づ  
き、公共の砂浜を訓練のた  
めに一時使用。昨年11月の  
日米共同演習チーン・ソー  
ドに續いて、一般公開もさ  
れ、砂浜に自衛隊に勧誘す  
るアースを設置し、広報活  
動も実施しました。